災害は忘れたころに…

市内3カ所で防災訓練

「台風による集中豪雨で各地で河川の氾濫や山崩れ、崖崩れが発生」という想定で、六月七日に奈路小学校、清風園、里保育所で防災訓練が行われました。

第三中隊（大湊分団、琴平分団、南海分団、日章分団）が本部からの指示を受け、里保育所に急行。園児六十三人は誘導用のロープをしっかり握って分団員の指示に従って避難しました。訓練が終わった後は実際に消防車に乗せてもらい、サイレンを鳴らすなど大喜びでした。

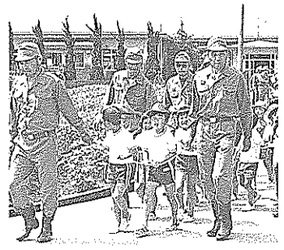
午後には、物部川河川敷で消防団の夏季訓練が実施され、市内各分団からの参加者は、真剣な表情で注水訓練などに取り組んでいました。

土砂災害に注意しましょう

現在市内には二ヵ所の法定危険箇所を含め、七十六ヵ所の危険箇所があります。傾斜三〇度以上の崖はすべて災害発生の危険性があります。崖崩れは地中にしみ込んだ水が地盤の抵抗力を弱める結果起こるのですが、突然起き、スピードも速いため、亡くなる人も多い災害。被害の及ぶ範囲は崖の高さの二倍から三倍の距離に達すると言われています。

崖崩れの主な前兆は、崖に亀裂がある、崖から水がわいている、小石がパラパラと落ちてくるなどです。

ふだんから気象情報に注意するとともに、避難場所などを決めておき、危ないと思ったら早めに避難しましょう。



消防団員の誘導で避難

移動図書館たちばな号これからもよろしく

移動図書館の名前がこのほど「たちばな号」と決まりました。

移動図書館は六十二年十月に発足、市内七十六ステーションを月一回まわっています。かねてから広報などでその愛称を募集し、たんぽぽ号やつくし号、やまもも号などが候補に上がっていましたが、市の花であり、親しみやすいということでたちばな号に決定、五月三十日の図書館協議会で承認されました。

北陵中で体験農園

一年生百四十人が田植え

一列ずつていねいに

六月二日に北陵中学校（溝渕喜好校長）の一年生約百四十人が、学校南側にある北村謙爾さん所有の田八九五平方㍍を借りてコガネマサリを植えました。

この体験農園は、米消費拡大対策事業として毎年実施されているものですが、中学校で行われたのは今年初めて。

二班に分かれて横一列に並び、溝渕校長の指導を受けながら一列ずつていねいに、約三時間かけて苗を植えました。

この日植えた苗は、同校の体験学習の一環として生徒が育て、十月ごろ収穫、同じように学校の畑で作っているじゃがいもといっしょにカレーライスにして食べることにしています。

みんなで築くよりよい環境

六月十一日に一斉清掃

青年団が新川を清掃

環境週間中（六月五日から十一日）の六月十一日に、恒例の市内一斉清掃。

早朝から各地区の皆さんが袋を片手に道路などに落ちているチリを拾って回りました。

また、小蓮橋周辺の国分川堤防では、国分川をきれいにする会の皆さんが堤防の掃除をしましたが、堤防の土には見る見るうちにトタンや空き缶などが積み上げられていました。

午後には市連合青年団（東條勝彦団長）の皆さん十一人が、新川でチリ拾いをしました。川の中には道行く人が投げ捨てたと思われる空き缶などがゴロゴロ。東條団長は「この様子を見て市民の皆さんがもっと考えてくれれば、南国市はもっときれいになるのでは」と話していました。

この日千屋崎の処分場に集積されたのは二㌧トラックで六十台分。ほとんどが空き缶などでしたが、なかには今年も一般の家庭から出したと見られるものも混じっていました。

集められたちりが山のように

よりよい環境は市民みんなで築くもの。ふだんから一人一人が心掛け、注意し合いたいものです。

元気でね

プールで育てたコイを放流

一匹一匹大事に放流

岡豊、長岡、国府、久礼田各小学校の児童が、自分たちがプールで育てていたコイをこのほど国分川や支流の領石川に放流しました。

このコイは、国分川をきれいにする会（門田理博会長）が働きかけて、四小学校に託し、冬の間プールで子供たちが育てていたもので、体長一五㌢から大きいものでは三〇㌢くらいに育っていました。

六月二日には、長岡小の六年生と、国府小の五、六年生が国分川橋のたもとで五百匹を放流。元気に川に泳ぎだしたコイをなごり惜しそうに見守っていました。

門田会長は「これからも流域の小学校全部にこの取り組みを広げ、子供たちに国分川を大事にする気持ちを育ててもらいたい」と話していました。

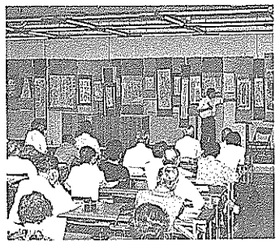
また、この日の早朝には、きれいにする会の会員二十一人が、国分川堤防を通って通勤する人に、チラシとタオルを配って「国分川が美しい川となるようにあなたの協力を」と呼び掛けました。

会員四十人が参加して史談会総会が開かれる

六月八日に南国史談会の総会が社会福祉センターで開かれました。

まず、土佐史談会員の戸梶修蔵さんが「土佐の遍路道について」と題して講演。その後、昭和六十三年度の決算報告や事業報告、平成元年度の事業計画の承認、役員の改選などを行いました。

また、この日会員に南国史談六号を配布。これは会員がそれぞれの研究に基づいて執筆したもので、A五判、八十五ページです。史談会では、会員以外でこの会誌を希望される方には一冊五百円でお分けすることにしています。詳しいことのお問い合わせは、史談会事務局（市役所市史編纂室☎(63)2111内線532）まで。



遍路道について講演